

かほっ子

令和3年8月25日 文責 校長 木下 勝典



実り多き2学期になるよう努力してまいります

今年の夏は、新型コロナウイルス感染症対策と共に、猛暑と記録的な大雨の日が続く、「誰も経験したことのない夏」となりました。まだまだ残暑が続きます。健康管理には十分に留意しなければなりません。夏休みが終わり、にこにこ顔の「かほっ子」たちが久しぶりに学校に戻ってきました。大きな事故やけがもなく、全員が登校できたことを、何よりも嬉しく思います。家族の方々の励ましや地域の方々の温かい見守りに支えられての夏休みとなりました。皆様のご支援に厚く感謝申し上げます。

さて、2学期は1年のうちでも一番長く、何をするにも適した気候となり、学習が深まる時期となります。夏休み明け後は、家庭を中心とした生活のリズムから、学校生活へのリズムを早く取り戻して、学習やさまざまな活動に取り組んでくれることを願っています。



この2学期も新型コロナウイルス感染症予防と熱中症予防の徹底に努め、教育活動を推進していきます。子ども達一人一人が自分のよさに気づき、さらに伸ばしていけるように、全職員で努力してまいります。引き続き保護者の皆様や地域の皆様のご支援・ご協力をどうぞよろしくお願い申し上げます。

ご家庭での基本的な生活習慣・学習習慣づくりをお願いします

2学期の始めにあたり、一番願うことは、子ども達が落ち着いて学校生活をスタートすることです。そのためには、自分のことは自分でできる生活習慣・学習習慣づくりは、ご家庭でのご協力が何より必要になってきます。

ご家庭での「早寝・早起き・朝ごはん」「10分×学年+10分」の家庭学習「少メディア」など、基本的な生活習慣・学習習慣づくりと学校での協同で学び合う子どもを育てる教育活動づくりを連携させることで、子ども達をよりよく育てることができると考えます。2学期もどうぞよろしくお願い申し上げます。



8月25日(水)	2学期始業式
26日(木)	給食開始
31日(火)	発育測定1年
9月1日(水)	登校指導日 発育測定3・4年
2日(木)	発育測定5・6年
3日(金)	発育測定2年
6日(月)	委員会活動⑥
21日(火)	登校指導日

9月の予定

《10月行事予定》

10月7日(木)～8日(金)	5年自然教室
10月13日(水)14日(木)15日(金)	学年運動会
10月29日(金)～30日(土)	6年修学旅行

「緊急事態宣言」が発令中です。不要不急の外出を控えましょう。3密（密閉・密集・密接）を避け、マスクの着用、こまめな手洗いを心がけ、コロナ感染予防に努めましょう。ご家庭での体調管理等をよろしくお願い致します。

きれいだなあという景色がなおきれいになる。～二学期始業式での話から～

夏休み中には、57年ぶりに日本でオリンピックが開催されました。選手たちの頑張る姿は、私たちに「感動と勇気」を与えてくれましたね。(略) この2学期は、みなさんも、最年少の13歳での金メダリスト西矢栞(にしや もみじ)選手のように、なりたい自分に向かって、「がんばれた!」という感動を体験してほしいです。そして、がんばっている人を見たら、たくさん応援してほしいです。「金メダル」は、オリンピックだけではありません。私たちの身近なところでも輝いています。一人一人のがんばる力が発揮されたとき、皆さんの心が輝き始めます。それは、「心の金メダル」だと思います。



いつも家族やまわりの人たちが「だいじょうぶだよ」ってささえてくれたから、1位になれました。

そこで、2学期の目標は、『心の金メダル』をめざして、『進んで』やりたいことに挑戦する2学期にしよう!です。みなさんへのお願いを3つお話しします。

①「進んで…あたり当たり前のことをできるまでとことんしよう」(「凡事徹底」)

「あいさつ」「時間を守る」「黙って清掃する」などです。嘉穂小のみんなが気持ちよく学校生活を過ごすことにつながります。

②「進んで…自分を伸ばそう」(「テストで100点を取りたい」「進んで発表。」「人にやさしくしたい。」など、自分のやりたいことを目標にして、進んで挑戦してください。)

③「進んで…言葉を大切にしよう」

彫刻家であり、詩人の高村光太郎さんが、「きれいだなあという景色がなおきれいになる。」と言ったそうです。この言葉を聞いて、ますます言葉は大事だと思いました。

きれいなものを見たときに、私たちは感動します。例えば、桜がたくさん咲いた時の景色を見た時、人は、感動して、言葉を発します。きれいなものを見たときに人は感動するのです。

それを自分の心の中でそっと大事にすることもあるでしょう。でも、その感動を素直に「きれいだなあ。」と言葉にすると、周りにいる人たちにも伝えることができます。その景色の美しさに関心なかった周りの人にも、気付かせることにもなります。また、「きれいだなあ。」と言った自分の声が、自分の耳に返ってきて、その景色の美しさは、目からだけでなく、耳からも入り、体全身で感じ取ることができるのです。言葉には、こんな大きな力があるのです。

自分が表現した言葉(言った言葉)は、言った自分に返ってくるのです。だからこそ、やさしい思いやりのある「あたたかい言葉」を使わなくてはならないのです。

「がんばったね」「ありがとう」「ごめんね」などの優しい言葉は、ほかほかした温かい気持ちにしてくれます。反対に「むかつく」「早くしろよ」などの相手に嫌な気持ちにさせる言葉は、とげとげしい空気をつくりだします。



高村光太郎さんが言った「きれいだなあという、景色がなおきれいになる。」ということ「がんばるぞという、なおがんばれるようになる。」とか、「だれかに『字がきれい』とほめられたから、なお字を丁寧に書くようになった。」とかに変えてみましょう。自分で言った言葉、友達に言われた言葉で、自分の心に強く訴えるものが生まれ、さらに良い方向に向かっていきそうです。

すすんで言葉を大切にしよう。みんなが「しあわせ」になれます。そのことがいちばんの「心の金メダル」です。

たった一つの言葉によって、人はうれしくなったり、悲しくなったりします。自分の心に感じた、明るくきれいな気持ちを言葉に表して、みんなが楽しい気持ちで過ごせるようにしていきましょう。このことが、嘉穂小学校のみんなにとって、とっても大事な「心の金メダル」となるでしょう。

